

## 普及活動情勢報告（令和元年7月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### いの町小野(この)地区の住民交流会で集落営農塾(基礎講座)を開催 ～これからの集落の農地や景観について皆で考えませんか?～



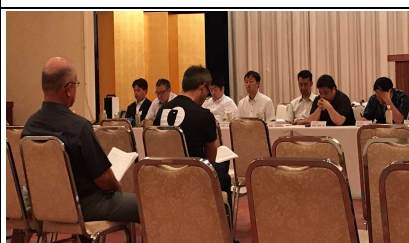
準備委員会や先進地視察を呼びかける普及指導員

6月23日、いの町小野集会所で定期開催されている地区住民交流会「仲良し会」の場で集落営農塾(基礎講座)を開催し、住民21人、関係機関5人が参加しました。

農業改良普及課は、DVDでの県内組織の活動や当地区で組織立ち上げに向け本年3月に発足した小野集落営農組織設立準備委員会のこれまでの活動を紹介しました。さらに、今後の協議や先進地視察への参加を呼びかけました。参加者数人からは、「次回の準備委員会に出て話を聞いてみたい」という声が出ました。

農業改良普及課は、今後も準備委員会に参加しながら、当地区に合った無理のない組織化を支援します。

### JA高知県土佐市胡瓜部会出荷反省会 ～今園芸年度もお疲れ様です～



病害虫防除について熱心に勉強する生産者

7月1日、JA土佐市胡瓜部会出荷反省会が開催され、生産者23人が参加しました。会では今園芸年度の販売情勢や栽培概要に加え、農業技術センター発生予察担当と農業改良普及課からは、黄化えそ病の発病状況と防除について、情報提供を行いました。

生産者からは「ハウス周辺の雑草防除の重要性や病害虫防除体系を考え直すきっかけになった」など様々な声があるなど、今園芸年度の課題と来園芸年度に向けた防除対策について、関係者間で意識共有する事ができました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携してキュウリ産地の維持・発展に向けて支援を行っていきます。

### 吾北物産出荷協議会総会・研修会 ～適正な食品表示と野菜の販売拡大を目指して～



熱心に研修を聞く協議会員

6月28日、いの町吾北あつたかふれあいセンターにおいて、同協議会総会・研修会が開催されました。

農業改良普及課は新しい法律に基づく食品表示方法と、道の駅「633 美の里」直販所のPOSデータに基づき、野菜の端境期出荷に向けた栽培方法を提案しました。参加者からは、「醤油には大豆の遺伝子組み換え表示は必要なのか」など活発な質疑が行われると共に、キャベツ・ニンジン・トマトの出荷期間拡大に向けての栽培方法が理解されるなど有意義な研修会になりました。

農業改良普及課は、今後も秋冬野菜の栽培講習会を実施するなど支援を継続します。

### 発生予察用粘着板で防除適期を把握 ～今年の「アカマルカイガラムシ」の防除時期は?～



発生予察用粘着板を確認中のJA職員

土佐市は、県下一の「土佐文旦」産地ですが、近年、県外の産地で問題になっている「アカマルカイガラムシ」が、県内他産地でも増加してきています。防除適期の判定が難しい害虫として知られており、発生密度が高くなると枝枯れを引き起こし、最終的には樹が枯死します。

そこで農業改良普及課では、JA営農指導員と連携し、発生予察用粘着板を用いて、5月14日から管内9ヶ所で調査を開始しました。6月24日には雄成虫の発生ピークが確認されたため、6月28日に7月初旬に地域内放送で薬剤防除を呼びかけました。農業改良普及課は、今後も引き続き調査を継続し、9月の防除適期の薬剤防除に向けた支援をていきます。

